

グローリーのCSR

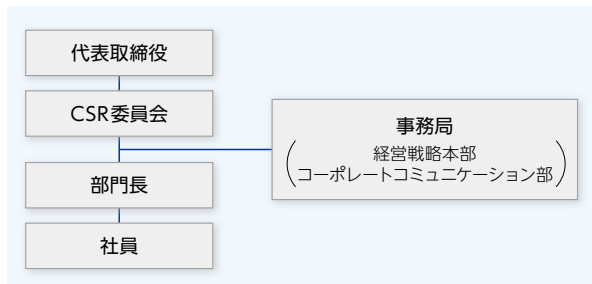
基本的な考え方

当社グループは、「私たちは『求める心とみんなの力』を結集し、セキュア(安心・確実)な社会の発展に貢献します」という企業理念の下、これまで培ってきたコア技術と新たな価値を創造する先進的な技術で社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

CSR推進体制

当社グループは、経営層から構成される「CSR委員会」を設置し、CSR経営を推進しています。委員会は年2回開催し、CSR経営に関する基本方針や基本計画、CSR活動に関する年度重点方針の策定などを行っています。

CSR推進体制



CSR教育

企業理念の実現に向けた意識を共有するため、企業理念や経営理念、企業行動指針などを掲載したハンドブック「私たちの指針」(8カ国語に対応)をグループ全社員に配付しています。また、eラーニング形式によるCSR研修の実施や社内イントラネットでCSRに関する情報を発信するなど、CSRへの理解促進を図っています。



ハンドブック「私たちの指針」

国連グローバル・コンパクト

当社は、2014年3月、国連グローバル・コンパクトに署名しました。国連グローバル・コンパクトの「人権・労働・環境・腐敗防止」の4分野10原則が、当社グループの企業行動指針と共通の価値観を持つと考えています。企業理念の実現に向け、企業行動指針に則った活動を展開し、グループ全体で国際的な課題解決に向けた取り組みを推進していきます。



【国連グローバル・コンパクトの10原則】

人 権	原則 1：人権擁護の支持と尊重 原則 2：人権侵害への非加担
労 働	原則 3：結社の自由と団体交渉権の承認 原則 4：強制労働の排除 原則 5：児童労働の実効的な廃止 原則 6：雇用と職業の差別撤廃
環 境	原則 7：環境問題の予防的アプローチ 原則 8：環境に対する責任のイニシアティブ 原則 9：環境にやさしい技術の開発と普及
腐 敗 防 止	原則 10：強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗防止の取組み

WEB 国連グローバル・コンパクトに署名
https://www.glory.co.jp/csr/csr_news/detail/id=722

持続可能な開発目標(SDGs)への貢献

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、貧困や雇用、環境などの社会課題に対する2030年に向けた世界共通の目標です。

当社は、世界が直面するさまざまな課題と真摯に向き合い、事業活動を通じて持続可能な社会の実現、すなわちSDGsの達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



ステークホルダーとの対話

ステークホルダーに対する情報の適正な開示と、相互間の対話・協働に努めます。

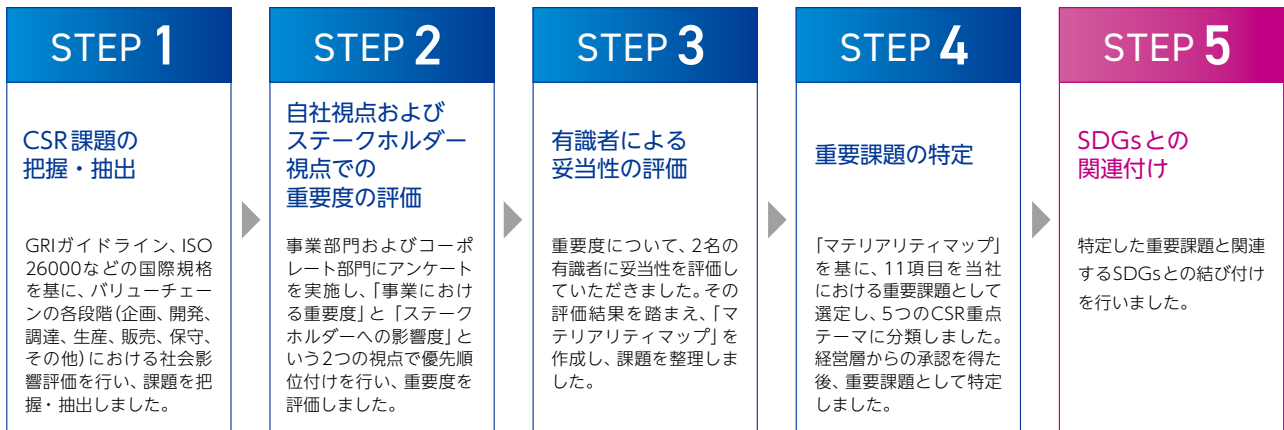
ステークホルダー	主な対話の機会	
 <p>お客さま</p>	<p>日本はもとより世界各国で、当社グループの製品やソリューションをご紹介し、より多くのお客さまと直接対話する機会を設けています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日常の営業活動 • コールセンター • メンテナンス訪問 • 展示会 	 <p>フランス最大のリテール向け展示会「Equipmag 2018」に出展</p>
 <p>お取引先さま</p>	<p>お取引先さまは、高品質な製品を安定的に生産するための大切なパートナーであり、協力体制の確立が不可欠です。グループ全体でお取引先さまとの信頼関係の構築に努め、ともに持続可能な社会の実現に貢献していくことを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日常の購買活動 • お取引先懇談会 • 品質会議 	 <p>品質向上活動発表会</p>
 <p>株主・投資家</p>	<p>迅速、正確かつ公平な情報開示によって経営の透明性を高めるとともに、建設的な対話を通じて当社の経営方針や事業活動への理解につなげ、株主・投資家の皆さまとの長期的な信頼関係の構築に努めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 株主総会 • 決算説明会 • コンファレンスコール • 機関投資家個別訪問 	 <p>株主総会後の株主さま向けショールーム見学会</p>
 <p>社員</p>	<p>経営幹部が積極的に社員と交流し相互理解を図ることで、経営活動に対する参画意識やモチベーションの向上、グループ全体の一体感醸成につなげています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 社長と語る会、現場巡視 • グループ会社訪問 • 労使協議会 • 社員意識調査 	 <p>社長による現場巡視</p>
 <p>地域社会</p>	<p>「良き企業市民」として、各国・各地域において、社会貢献活動や環境保全に積極的に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • グローリー小学生育成財団を通じた次世代の育成支援 • スポーツ振興支援 • 開発途上国への支援プログラム 	 <p>植樹イベントへの参加(フィリピン)</p>

グローリーのCSR

グローリーのCSR重要課題

CSR重要課題の特定とSDGsとの関連付けプロセス

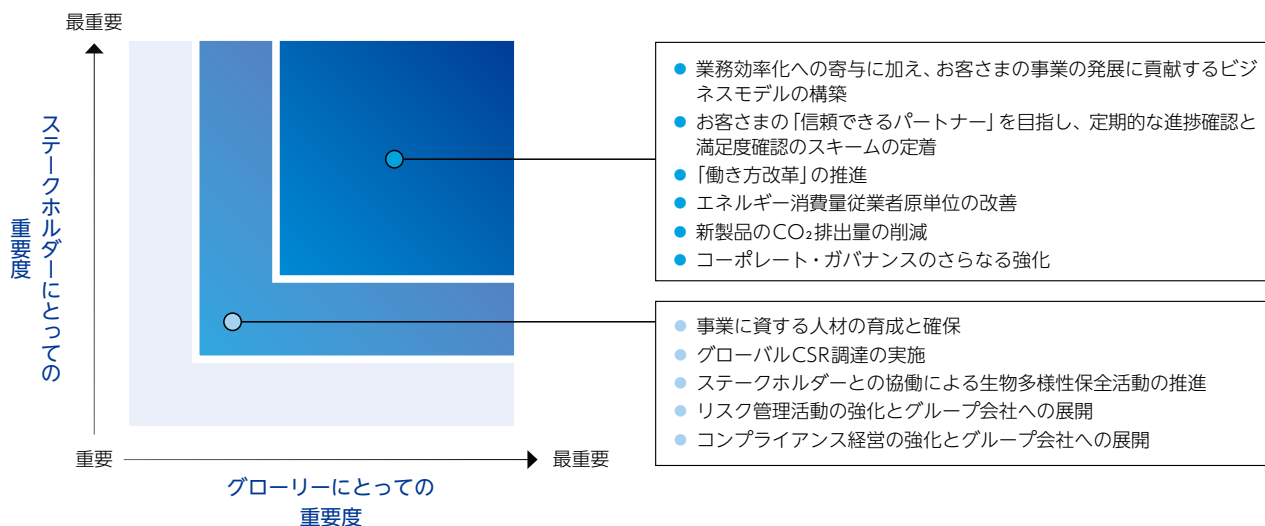
当社では、下記のプロセスに沿って重点的に取り組むべき重要課題を特定し、特定した重要課題と関連するSDGsの結び付けを行いました。



目標と実績

	CSR重点テーマ	重要課題	2018年度目標
新しい 価値の 創造	事業を通じた 新価値創造	●業務効率化への寄与に加え、お客さまの事業の発展に貢献するビジネスモデルの構築	●多様なデータを活用したソリューションの構築
		●お客さまの「信頼できるパートナー」を目指し、定期的な進捗確認と満足度確認のスキームの定着	●モデル顧客を選定し、定期的なレビューを実施
社会	人材への取り組み	●「働き方改革」の推進	●新たな働き方の実行と検証 ●業務効率化の推進
		●事業に資する人材の育成と確保	●階層別および次世代候補人材の育成
環境	サプライチェーンにおけるCSRの推進	●グローバルCSR調達の実施	●CSR自主点検チェックリストの継続実施および評価点向上のための活動 ●海外拠点においての活動展開
		●エネルギー消費量従業者原単位の改善 ●新製品のCO ₂ 排出量の削減	●エネルギー消費量従業者原単位 年平均1%削減(2010年度基準) ●新規開発製品の省エネ(従来機比) 15%以上削減
ガバナンス	環境への取り組み	●ステークホルダーとの協働による生物多様性保全活動の推進	●年次活動計画の実施率100%
		●コーポレート・ガバナンスのさらなる強化	●コーポレート・ガバナンス・ガイドラインに沿った施策の推進
ガバナンス	ガバナンスの強化	●リスク管理活動の強化とグループ会社への展開	●グローバル視点でのリスク管理の実施とグループ会社への展開
		●コンプライアンス経営の強化とグループ会社への展開	●階層別教育の実施、グループ会社との連携強化

マテリアリティマップ






2018年度実績	2019年度目標	関連するSDGs
<ul style="list-style-type: none"> ● 「顔認証」と「声認証」の組み合わせによる「本人認証プラットフォーム」の企画 ● OCR (光学式文字認識) 技術を活用した保険薬局向け処方箋入力支援システムの開発 ● 「Sコイン」の実証実験への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様なデータを活用したソリューションの構築 	8 9 11 12
<ul style="list-style-type: none"> ● モデル顧客の選定と四半期ごとのレビュー会議の実施 (7月、9月、11月、3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ● モデル顧客を選定し、定期的なレビューを実施 	8 12 17
<ul style="list-style-type: none"> ● テレワーク (モバイルワーク、在宅勤務) の試行 ● フレックスタイム制の検討と試行導入の準備 ● 旅費、立替払い精算業務の負荷軽減につながる新システムの導入 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新たな働き方の実行と検証 	5 8 10
<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代の幹部人材の育成に向けた「GLORY Business College」の実施 (計7回) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 階層別および次世代候補人材の育成 	4 5 8 10
<ul style="list-style-type: none"> ● CSR自主点検チェックリストの実施 (一次お取引先さま 452社) と回答企業へのフィードバック ※回答率: 約96% ● グローリープロダクツ株式会社におけるCSR自主点検チェックリストの実施 (一次お取引先さま 95社) と回答企業へのフィードバック ※回答率: 100% ● CSR自主点検チェックリストの海外拠点への展開に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> ● CSR自主点検チェックリストの継続実施および評価点向上のための活動 ● 海外拠点においての活動展開 	8 10 12 17
<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー消費量従業者原単位 年平均2.2%削減 (2010年度基準) 	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー消費量従業者原単位 年平均1%削減 (2010年度基準) 	13
<ul style="list-style-type: none"> ● 平均16.1%削減 (32機種のうち14機種で目標達成 G-エコ製品に認定) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規開発製品の省エネ (従来機比) 15%以上削減 	7 12 13
<ul style="list-style-type: none"> ● 年次活動計画の実施率 100% 姫路: 「グローリー夢咲きの森」 森林整備活動 83名 (お取引先さまの参加 3社16名) 家族向け自然体験イベント 94名 (お取引先さまの参加 1社9名) 関東: 「東京都八王子市上川の里 (特別緑地保全地域)」 森林整備活動 54名 (お取引先さまの参加 1社3名) 「東京都荒川河川敷」 河川敷清掃活動 28名 	<ul style="list-style-type: none"> ● 年次活動計画の実施率100% 	14 15
<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレート・ガバナンス・ガイドラインの改正 ● 取締役報酬制度の見直し (業績連動性の向上) ● 取締役会の実効性に関する分析、評価の実施と改善策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● コーポレート・ガバナンス・ガイドラインに沿った施策の推進 	16
<ul style="list-style-type: none"> ● グループ共通の評価手法によるリスク評価の実施 ● 重要リスク等に対する諸施策の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● グローバル視点でのリスク管理の実施とグループ会社への展開 	16
<ul style="list-style-type: none"> ● 当社および国内グループ会社におけるコンプライアンス教育の実施 (eラーニング受講率: 100%) ● 国内グループ会社でのコンプライアンス向上計画の立案と実施 ● ハラスメント防止強化策の導入と国内グループ会社への展開 	<ul style="list-style-type: none"> ● 階層別教育の実施、グループ会社との連携強化 	10 16

グローリーのCSR

バリューチェーンにおけるCSRの主な取り組み

当社グループのバリューチェーンにおけるステークホルダーごとの主な取り組みをご紹介します。

	企画	開発	調達
バリューチェーン	 <p>お客さまにとって価値のある製品やソリューションをお届けすることで、社会課題の解決につなげるべく、挑戦を続けています。</p>	 <p>絶えざる開発の心で、社会やお客さまの期待を超える新たな価値の創造を目指しています。</p>	 <p>安定調達を維持し、公平かつオープンな購買活動を行うとともに、サプライチェーン全体のCSRにも配慮します。</p>
ステークホルダーごとの主な取り組み	<p>お客さま</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 新たな価値、ソリューションの創出 ● お客さまのニーズに合った製品の企画 <p>製品ラインアップ</p> <p>約 950</p>	<p>お客さま</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お客さまのニーズに合った製品のスピーディーな開発 ● 品質の確保 ● ユニバーサルデザインへの対応 ● 新技術を活用した製品の開発 <p>研究開発拠点</p> <p>7 カ国 11 拠点</p> <p>研究開発費</p> <p>約 132 億円 (連結)</p> <p>特許・実用新案・意匠保有件数</p> <p>2,053 件 (連結)</p>	<p>お客さま</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 品質の確保と競争力のある適切な価格の追求 <p>お取引先さま</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お取引先さまとともにCSR調達を推進 ● お取引先さまとのパートナーシップの強化 ● サプライチェーンにおける人権の尊重 <p>CSR自主点検チェックリスト回答率</p> <p>約 96 % (グローリー株式会社)</p> <p>100 % (グローリープロダクツ株式会社)</p> <p>お取引先懇談会参加社数</p> <p>170 社 (グローリー株式会社)</p> <p>62 社 (GLORY (PHILIPPINES), INC.)</p> <p>97 社 (光栄電子工業(蘇州)有限公司)</p>
	<p>お客さま 地球環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮型製品の企画 	<p>お客さま 地球環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮型製品の開発 <p>G-エコ製品</p> <p>14 機種開発</p>	<p>地球環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グリーン調達の推進 ● 生物多様性の保全
	<p>従業員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グローバル人材の育成 	<p>従業員</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ワークライフバランスの推進 ● 専門スキル向上に向けた教育 	
	環境影響	エネルギーの使用に伴うCO ₂ 排出量 15,135 t-CO ₂ (前年度比 -9.5%)	

生産



高品質な製品をタイムリーにお届けするため、国内外の各拠点の強みを生かした最適な生産体制を構築しています。

お客さま

- 品質と安定供給の確保
- リードタイムの短縮
- コスト競争力の強化

生産体制

3カ国 9拠点

地球環境

- 省資源化、リサイクル、リユースに配慮した生産と物流

地域社会

- 工場周辺の安全

従業員

- 人権や労働安全衛生への配慮

休業災害度数率

0.40

Scope 1

Scope 2

販売



市場環境の変化に柔軟に対応し、お客さまのニーズに応じた最適なソリューションをタイムリーにご提供できるよう努めています。

お客さま

- お客さまのニーズに合った製品・ソリューションのタイムリーな提供
- 製品・サービスに関する適切な情報の提供
- 顧客情報、個人情報の管理

事業展開

100カ国以上

お客さま

地球環境

- 環境配慮型製品の販売
- 製品売上高に占めるG-エコ製品の売上高比率

約 73%

地球環境

- 廃棄時の環境負荷低減
- 使用済み製品の回収(広域認定制度利用)

約 98t(グローリー株式会社、北海道グローリー株式会社)

従業員

- ワークライフバランスの推進
- テレワークの導入
- SE(システムエンジニア)人材の育成

保守



万全のサポート体制とニーズを捉えた付加価値の高いサービスにより、お客さまの安心と信頼、満足にお応えしてまいります。

お客さま

- スピーディーで確実な保守対応
- 顧客起点による保守品質の向上
- お客さまのニーズに合ったサービスの企画
- 顧客情報、個人情報の管理

保守スタッフ

国内 約 1,000名

海外 約 2,400名

地球環境

- エコカー導入
 - ノンフロンガス型の清掃用品(リサイクルジェット)の販売
- リサイクルジェット充填本数

約 60,000本
(CO₂排出削減量: 約 30,000t)

従業員

- ワークライフバランスの推進
- 資格認定制度による育成

製品の使用によるCO₂排出量

199,684 t-CO₂ (前年度比 +7.8%)
Scope 3 カテゴリ 11

輸送・配送によるCO₂排出量

13,210 t-CO₂ (前年度比 +0.5%)
Scope 3 カテゴリ 4

製品の廃棄によるCO₂排出量

Scope 3・カテゴリ 12

2,645 t-CO₂
(前年度比 +0.5%)